

# 学校関係者評価書

2020年9月5日開催

名古屋工学院専門学校

## 1. 学校の重点目標

### 1. 教員の質

- 1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加などを実施することにより、教員の教育力向上を図る。

### 2. 教育内容の質

- 1) グランドシラバスおよびそれに基づくシラバスの点検・整備などにより、自らカリキュラムの更新を継続するとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術の導入を図る。
- 2) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのよりいっそうの連携を図る。

### 3. 教育成果の質

- 1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。
- 2) 就職を教育成果の最終成果ととらえ、就職率向上に向けた施策を実施する。

### 4. 学習環境の質

- 1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎ならびに教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。
- 2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般（ハード面、ソフト面）について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

## 2. 学校の重点目標に対する評価・意見

- ① 少子化で学生集めることが大変な今、このような母校の取り組みに、先生方の苦勞を痛感します。
- ② 我が社には、多くの卒業生が在職しています。大学卒業生と比較すると電気基礎、資格取得済みの学生が多い為、本職を覚えるに有利と感じています。これからも社会に出て活躍する学生の教育をお願いします。
- ③ コロナ禍に伴うオンライン型教育の進展等、学習効率の改善が求められる時流になり、さらには18歳人口の減少で、学校教育活動は益々改善、改革が必要となってくると思われます。更なる努力を期待します。
- ④ それぞれの評価項目に対して問題意識を持ち、真摯に取り組んでいる姿勢が良くわかりました。
- ⑤ さまざまな課題をきちんと抽出し、それらに対して、適切な対応を行っていると感じました。
- ⑥ 評価委員会で説明を受けまして、大変わかりやすく、評価も適切であると思います。
- ⑦ 発表にありました評価3の項目につきましては、2020年度で適切に改善されることを期待しております。
- ⑧ 教員の質・教育内容の質・教育成果の質・学習環境の質等、重点目標をしっかりと見極めて行っていると思います。
- ⑨ 教育環境で気になっていたPCB使用の安定器の撤去についても、現在改装中の1号館耐震工事に盛り込んで実施され、照明器具も段階的にLEDへ交換を進められています。
- ⑩ 教育活動、学修成果などについても、各学科でしっかりとPDCAが実施されている様子が伺われました。
- ⑪ しっかりと目標を立て、それにそって行動して、厳しく評価を行っていると思います。

### 3. 学校自己評価報告書についての評価点の平均

基準ごとに 次の3点について 4段階で 評価してください	学校が行った自己評価の結果が 適切かどうかについて。	学校運営等の改善に向けた 実際の実践が適切であったか。	自己評価の結果を踏まえた 今後の改善策が適切であったか。
	4：適切な評価である	4：十分適切な取組みである	4：十分な効果が期待できる
	3：ほぼ適切な評価である	3：ほぼ適切な取組みである	3：ほぼ十分な効果が期待できる
	2：やや不適切な評価である	2：あまり適切とはいえない取組みである	2：あまり効果が期待できない
	1：不適切な評価である	1：適切とはいえない取組み	1：効果は期待できず、改善を要する
(1) 教育理念・目標	4.0	4.0	4.0
(2) 学校運営	4.0	4.0	4.0
(3) 教育活動	3.9	3.9	3.8
(4) 学修成果	3.9	3.9	4.0
(5) 学生支援	4.0	4.0	4.0
(6) 教育環境	4.0	4.0	4.0
(7) 学生の受入れ募集	4.0	4.0	3.8
(8) 財務	4.0	4.0	4.0
(9) 法令等の遵守	4.0	4.0	4.0
(10) 社会貢献	4.0	4.0	4.0
(11) 国際交流	3.9	3.9	3.9

## 4. 今後の改善方策についての意見と具体的な改善方策

### ① 親御さんが安心して預けられるような学校であってほしい。

重点目標に、次の4つの視点があります。『教員の質』『教育内容の質』『教育成果の質』『学習環境の質』です。これらの維持・向上を図り、入学した学生が安心して学び、生活できる教育体制を今後も目指していきます。

### ② 職場の悩み、離職原因の多くは、職場の人間関係に起因する事が多く、コミュニケーション不足、挨拶、報連相社会への適応能力不足が問題となる事例が見受けられます。社会人にとって持っているべき知識を学ぶ（習得させる）カリキュラムをキャリアセンターが中心に作ってはどうか。

本学園の「建学の精神」には、社会人としての知識と技術を身に付けると共に、社会に歓迎される人柄を兼ね備えた人材育成を目的とすることが謳ってあります。本校設置のすべての学科には、「キャリアガイダンス」という科目が組み入れてあります。社会人として必要な知識を習得するための科目です。内容は『基礎学力向上』『一般教養』『職業人意識』『ビジネスマナー』『就職活動指導』です。クラス担任が、講義形式または演習形式で実施しています。指導内容によっては、就職斡旋業務を統括するキャリアセンター教職員、外部講師等による講演を実施しています。「キャリアガイダンス」の授業だけにとどまらず、就職指導を通じて社会人基礎力を身につけさせていきたいと思えます。

### ③ 御校の建学の精神にもあります「歓迎させる人柄を兼ね備えた人材を育成し」職業意識、ビジネスマナーを更に飛躍させ、他校との差別化を図り社会人として歓迎される人材を育成してはどうか。

②にて記述しましたとおり、「キャリアガイダンス」という科目の中で、『職業人意識』『ビジネスマナー』を講義しています。今度も、競合他校の学生に劣らない人材育成に努めてまいります。

### ④ 2019年度までと異なり、2020年度はコロナの影響で、本来できていた事ができない事も多々発生しつつあると思えます。その中で他の学校や前例にとらわれず、いかに適切に学生の修学を助け、就職を適切に支援できるか、大変だと思えますが、貴学ならではの行動に期待しております。

2020年度は、入学式をはじめとしてさまざまな学校行事が中止となりました。5月中旬から分散登校や時差当校、その後、クラス半数での授業（ハイブリッド授業）、リモート授業など実施しました。授業時間を確保するために、夏期休業日は例年8月1日から9月第1週まで1か月

ほどあるのですが、今年度は8月8日から8月23日までの2週間としました。冬期休業日も3日ほど短くする予定です。また、体育祭や文化祭も中止して授業時間に当てます。就職については、内定率が昨年比マイナスで推移しています。毎日のように学内単独企業説明会を開催するなど、就職に関しては万全の対応を考えています。

- ⑤ 個人的に注力して改善していただきたいと思いましたが、退学率が目標率を超過、一昨年に比べてもやや悪化した項目です。メンタルヘルスケアが課題と捉えていただいておりますので、しっかりサポート体制を整えて改善できるよう期待しております。

基礎学力向上のための補習を継続すると共に、定期試験直前には試験に向けた対策授業を行う等のサポート体制を整えています。また、精神的な問題を抱える学生に関しては、臨床心理士による面談を行い問題解決に取り組んでいます。今後も、さまざまな退学理由に対応をするために、退学率低減に向けた組織的な活動として、学生の情報を教員間で共有することや、保護者との密接な連携を通して、退学抑止に努め改善を図っていく考えであります。

- ⑥ 学校評価委員会でも述べましたように、就職率向上における学生向け各種セミナーの開催について「学内単独企業説明会」の適宜な開催を、多数設定が望ましいと考えます。本年度のコロナ対策にも関係すると考えます。

学内単独企業説明会は、企業様からの依頼により、平日の授業後を利用して開催する単独企業の説明会です。その際に、1次試験（筆記試験）を実施される企業もあります。コロナ禍の中、本校といたしましても多くの企業様にお声がけさせていただき、学内単独企業説明会を開催していただければ幸いです。よろしく申し上げます。

- ⑦ 新型コロナウイルスなどの疾病対策や、三連動地震や異常気象への対策など、学生や職員の方々の安全を守るための取り組みが重要になると考えます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」に従い、適宜対応しています。また、危機管理マニュアルが、教務委員会において作成されました。マニュアルは、大地震や火災を含む16項目で構成されています。学内（一部学外）で起こりうる危機に対して、どう対処すべきかが記載されています。三連動地震（東海地震、東南海地震、南海地震）の発生を仮定して、年1回は必ず、火災と地震等の災害を想定した避難訓練を実施したいと考えています。

- ⑧ コロナによって、リモート授業という、行ったことのない授業での欠点がいくつもでてきていると思います。このような事が、またあっては困りますが、一応の対策をたてておかななくてはいけないのではと思います。

リモート授業（オンライン授業やハイブリッド授業）は、本校としても初めての試みです。教員間でリモート授業の様子を参観しあい相談し

あい、また、リモート授業勉強会も開催しました。今後、学生向けにオンライン授業に関するアンケートを実施して、学生からの意見も聞き、より良いリモート授業を実施したいと考えています。

⑨ コロナによる就職難が少しでも回避できるようにお願いします。

④にも記述しましたが、毎日のように学内単独企業説明会を開催するなど、就職に関しては万全の対応を考えています。また、例年11月と12月に次年度卒業予定者向けに企業説明会を開催していますが、11月に今年度卒業予定者向けの開催を検討しています。